

## 第 1 回 南区教育ミーティング 会議録概要

開催日時	平成 26 年 8 月 27 日（水）午後 1 時 30 分から午後 2 時 45 分
会 場	南区役所 4 階 講堂
出席者	<p>南区自治協議会委員 出席 20 人 教育委員          沢野教育委員、吉村教育委員、伊藤教育委員、眞谷教育委員          事務局          教育長、教育総務課長・補佐、企画室長          生涯学習課長、学校支援課長補佐 3 人、白根地区公民館長          南区教育支援センター所長</p>
議 事	<p>1 開会          2 教育委員代表挨拶 吉村教育委員          3 出席者紹介（教育委員、事務局）          4 テーマについて          「教育委員会制度について」 事務局説明 教育総務課長          ① 現行の教育委員会制度の概略          ② 6 月の国会で法律改正の内容現行の教育委員会制度と改革後の教育委員会制度の違い          ③ 5 月 1 日現在の市内小中学校の児童生徒数の学校ごとの状況及び平成 3 2 年度の児童生徒数の推移</p> <p>5 意見交換</p> <p><b>自治協委員</b>          このミーティングでは、何について話し合いをするのか。この資料の内容でどのような意見交換ができるというのか。</p> <p><b>教育委員会事務局</b>          地域に密着した教育行政の一層の推進のため、教育委員が地域の皆さんとの意見交換により地域の現状や今の課題を把握して、市全体の教育の方針や決定をしていきます。          今回の教育ミーティングで、自治協の皆さんと意見交換の場を持たせていただいた。区の現状、教育に関する課題など、委員の皆さんが日頃から教育について感じていることについてご意見をいただきたい。また、今回のテーマについては、戦後現在の形になった教育委員会制度が、一般の方から分かりにくいいため、制度改革と併せて説明した。</p> <p><b>自治協委員</b>          多忙のため体調を崩している先生もいる。負担が大きいのでは。学校で工事を実施する場合、日程が伝えられるだけで説明がなく工事に入っている。事前に P T A や地域とも協議して実施してほしい。          臼井小学校では、合併の際にインターホン形式の電話など学校の設備</p>

が取り外され、大変不便になったと聞いている。なんでも統一するというのではなく、いいものは残してほしい。

#### **教育委員会事務局**

学校の先生方の多忙化については大きな問題になっている。新潟市だけではなく全国的な課題である。新潟市は教育ビジョンに基づいて、様々な施策を行っているが、教員の多忙化解消も大きな柱の一つとして取り組んでいる。子どもたちと接する時間を確保しましょうという指標があり、年々改善していると思うが、これで終わりということはないので、いただいた意見を参考にこれまで以上に取り組んでいきたい。

学校の工事に入る場合は、学校の行事の日程等に支障がないように工事の期間を設定して工事に入っている。学校側が「突然に来た」と感じるということであれば、学校と担当課とのよりきめの細かい打ち合わせや調整が必要と思う。学校現場がそう思わないようにしていきたい。

インターホンについて、取り外された経過、経緯を承知していない。実際に教務室と学級のインターホンが設置されているのか、いないのか、それについての整備がどういう方針なのか、後日回答させていただきたい。

#### **自治協委員**

教育委員会制度改革について、従来は首長から独立した執行機関としての位置付けがあったが、今回の改正で首長が深く関与することが大きな変更になっている。首長が変わった場合、教育委員会はどのように変わるのか、またその対応はどうなるのか。

教育長の任期は3年、教育委員は4年としているが、そのメリットと問題は何か。

首長は総合教育会議を設けるとしているが、教育行政にどのような影響があるか。

国の地方公共団体への関与の見直しの中で、国が関与してきた場合、地方の首長、教育委員会はどのような立場に立たされるのか。国から何らかの指示があった場合、従うべきなのか。

#### **教育委員会事務局**

新制度の教育委員会も、現行の教育委員会と同じように独立した執行機関と位置づけられ、従来どおり中立性、独立性は確保される。

新潟市ではこれまでも、市長との懇談の場を設けてきた。総合教育会議とは、全国の自治体で教育委員会と首長との意見交換の場が正式に位置づけられたということ。

教育委員については、首長が議会の同意を得て任命するところは改正後も従来どおりで変わりなく、そこでチェックがかかるものと思う。

#### **教育委員**

首長が変わっても、教育委員のそれぞれの考え、判断で決めていくや

り方は従来どおりで変わりません。  
首長の関与や委員長の独断の決定がないよう、公開の場で協議すること。教育委員会で、協議により物事を決定する独立性。今後もこの点を守り、任務にあたっていきたい。

#### **教育委員会事務局**

首長の任期は4年だが、その任期中に1回は教育長を自らが任命できる。そういう機会を設けるために、制度改正後は教育長の任期を3年とするというのが国の説明です。

従来から、国の地方公共団体への指示についての規定はあった。その中で、いじめによる自殺の防止、児童生徒の生命・身体への被害の拡大防止など緊急の必要がある場合に、文部科学大臣から直接教育委員会に指示ができる。今回、その要件を明確にしたものです。

それに従わない場合はという質問だが、指示の事由が、生徒の生命身体への保護ということなので、国の指示がないように当該教育委員会がしっかりと対処していかなければならないものと思う。

#### **自治協委員**

県立白根高校の学級減の問題について。南区唯一の県立高校として昭和38年に開校した白根高校は、地域に親しまれ、かつては武道等の強豪校として広く知られていた。

高校は、地域の発展を支え、産業に貢献する人材を育成する重要なところだ。生徒数の減少に直結して地域の衰退になりかねない。

市の教育委員会としてどのように考えているか。

#### **教育委員**

南区唯一の高校であり、学級数の減少は非常に重要な問題であると強く認識した。

県立高校に関する権限は県の教育委員会にある。機会があるごとに、県に対し意見を伝えていきたいと思う。

#### **自治協委員**

各区で教育活動等を行う団体や地域と小学校、中学校を結ぶ総合の相談窓口はどこになるか。

#### **教育委員会事務局**

今まで5つの区に教育事務所があったが、今年の4月から市内の8区全てに教育支援センターを設置した。

地域や学校との連携に関する事など、こちらからもご協力をお願いすることもあると思うが、教育支援センターを窓口として相談していただきたい。

#### **自治協委員**

教育委員が6人から9人に増員された。学校や教育施設など教育現場

を知るために、どのくらいの頻度で地域に出向いているか。

#### **教育委員会事務局**

今年度、教育委員を3名増員し区担当制としたのは、地域をこまめに回ろうという目的からである。

今回のように区教育ミーティングで自治協議会委員の皆さんと意見交換を行ったり、中学校区教育ミーティングを計画している。

中学校区教育ミーティングとは、1つの中学校区内のコミ協、小中のPTA、教職員、地域教育コーディネーターと教育委員が、意見交換をする場を持つというもので、今年度はモデル実施を行う。

地域に出向き、地域の状況を把握する仕組みづくりに取り組み始めたところで、地域の皆さんからもご支援をお願いしたい。

#### **自治協委員**

地域教育コーディネーターが配置され7年経過し、現在、市内全校に配置され知名度も上がっている。学校と地域を結ぶ活動も年々盛んになっているが、コーディネーターの手当は、当初より下がっている。何とか手当を上げてほしい。

#### **教育委員会事務局**

全校配置となりよかったが、報酬に関しては予算維持が難しい。今後とも下がらないように努力していきたい。

#### **自治協委員**

地域の子どもたちが、どこの小学校に通学しているかわからない。通学時の安全面などから、自治会長だけでも把握していたほうが良いので教えていただきたい。

#### **教育長**

学校へ通っている姿を見て、その子がどこに住んでいて、どこに通っているかわからないというのは、自治会長としては非常に不安で心配だと思う。まずは学校にご相談いただきたい。

#### **自治協委員**

事務局の出席について、色々な質問が出るので、担当者がいないので答えられないということがないようにしていただきたい。

南区は軌道の公共交通機関がない。あらゆる場で耳にされていると思うが本当に不便だ。これだけ大勢で来るのであれば、公用車ではなくバスを利用していただき、「本当に南区は大変だ。南区の人は大変だ。」そういう実感を持ってもらいたい。

私の声と言うよりも、市民の声であると重ねてお伝えをしたい。

#### **6 自治協議会会長挨拶**

#### **7 閉会**